

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

山梨県

（地域における現状・課題）

本県の中学校の中学校における運動部活動は、少子化の影響により学校単位での活動維持が困難な地域が増加するとともに、部活動数も平成30年からの4年間で約10%減少した。さらに、運動部活動においては、休日も含めた指導や大会への引率、運営への参画が求められるなど、教員にとって大きな業務負担となっている。

このような状況を踏まえ、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下で、生徒の望ましい成長を保證できるよう、地域の実情に応じスポーツ活動の最適化を図り体験格差を解消することができる、持続可能で多様なスポーツ環境の一体的な整備を進める。

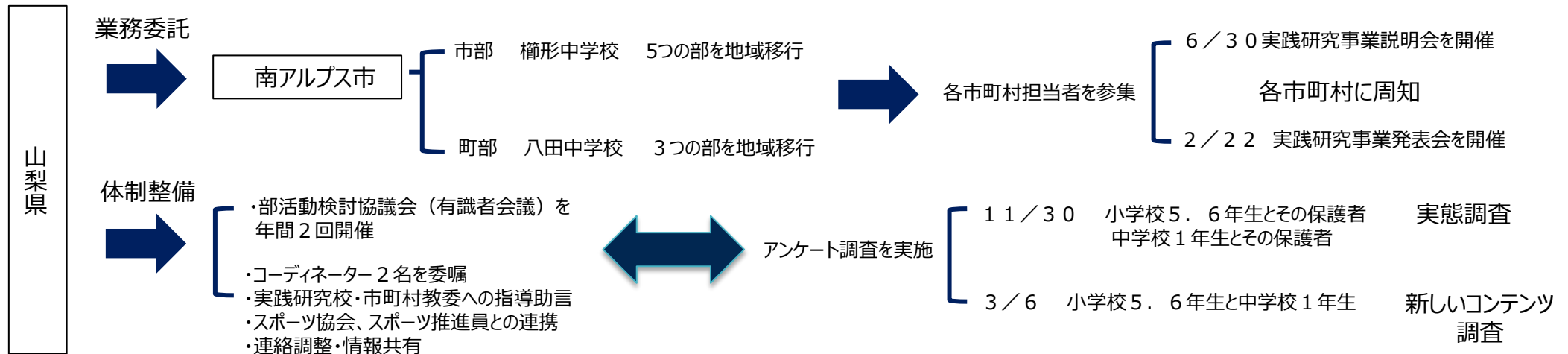
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

地域スポーツクラブ活動の体制整備に向け、検討体制の整備を行った。有識者の会議を年間2回、本事業の説明会及びその発表会等の開催をとおして、本県の地域移行に対する考え方の共通理解を図る機会を設定した。また、2名をコーディネーターを委嘱し、スポーツ協会やスポーツ推進委員協議会等の関係団体や市町村との連絡調整・指導助言を行うことのできる体制整備を行った。

（実践研究の成果）

本事業の生徒・保護者・顧問そして地域スポーツ指導者の地域移行に対する考えは、アンケートの結果から「肯定的」である。例えば、「指導者わかりやすい」、「意欲的に取り組めた」、「顧問の負担軽減につながる」等、さまざまな成果が見られた。しかし、全県でみると指導者の質の保障や量の確保、関係団体等との連携強化、生徒の多様なニーズに応じた取組の必要性を感じる。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

南アルプス市

（地域における現状・課題）

全員入部制をとっていないが、自己の内面に意識を向けさせ、自己実現力を高めるきっかけを作ると同時に、「生徒による自主的な活動」を組織し、精神的な成長、技術の向上に向かわせるために、何らかの部活に入ることを推奨している。顧問については、県費常勤の教諭が複数顧問制で担当している。

指導者の確保（人材・費用など）と保護者の負担、内容の周知など課題は多々ある。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：南アルプス市立八田中学校／南アルプス市櫛形中学校

活動場所：各中学校施設

指導者：地域指導者（教員OB、スポーツ協会指導者など）

移動手段：徒歩、自転車

責任主体：南アルプス市教育委員会、各中学校

活動種目：剣道、弓道、卓球、バスケットボール（男）、バスケットボール（女）、
陸上競技、野球、ソフトテニス（女）

会費等：部費に応じた額を徴収（例：1人あたり4,000円/年額）

保険：対象の生徒はスポーツ安全保険に加入

（実践研究の成果）

まずは外部指導者による指導を実践するという方向性から、市内2中学校の複数部に外部指導者を配置し、顧問と共に休日の部活動を行った。生徒、保護者、顧問、外部指導者等に聞き取りを行い、成果や課題を抽出。令和5年度に協議会を設立し、今後の運営について検討を重ねていく。

「専門的な技術を学ぶことができる」「質の高い練習ができる」「刺激をととも受ける」「新しい視点からの指導を受けられる」など肯定的な声が多くあることが分かった。

一方で、地域運動部活動指導者が土日に指導する場合には、安全面の確保のために、地域スポーツ指導者の単独での指導は難しい実態が明らかになった。顧問・保護者・地域スポーツ活動指導者の連携の中で、働き方改革や生徒のニーズに対応した体制整備を進めていく。

（運営体制図）

